



大館地域(花岡地区)

大館地域は五つの地区に分かれていて、花岡地区では花岡町婦人会43人を中心に、月4回(木曜・夕)常食弁当と歯が悪いかたのために『おかゆ細食』を作って配達しています。また、東北電力株が月2回、企業ボランティアで配達を手伝っています。

地区への恩返しになれば

「はなふの会」で作るので、私たちは「はなふのお弁当」と呼んでいます。始めて15年ぐらいになりますかね。少しでも地区のためになればと思いい、会員も一生懸命になって作っていますし、利用している皆さんに大変喜ん



会長 渡邊 ハツエ さん (本郷下)

でもらっていますよ。以前は30食ほど作っていたんですが、今は13食に減っているのもっと皆さんに利用してもらいたいですね。でも、このサービスを続けていくうえで、一番の悩みが会員の高齢化が進んでいることなんです。今は使い捨ての容器を使っていますが、弁当箱を洗って使っていたころは、中学生が回収を担当するなど地域ぐるみの活動だったんですよ。東北電力(株)の社員が企業ボランティアで手伝ってくれて助かっています。地区全体でも取り組むことを考えていかなければと思っ

花岡町婦人会(はなふの会)

ています。若い会員を増やしたいという気持ちもありますが、私たちが今頑張っているという気概を持って続けていくつもりです。今後みんな協力して、利用者に喜んでもらえるお弁当を作り続けていきたいですね。



利用者に合わせた常食(左)とおかゆ細食

はつらつ弁当を利用している皆さんの声

利用して5年ぐらいになりますね。週に1回ですし、毎回違う手作りのおかずなので楽しみにしてらんですよ。私の好きな魚がよく入ってくるし、混ぜご飯もおいしいな。栄養のバランスを考えて作ってくれた弁当だから、とても満足していますよ。



成田 敏 さん (本郷下)

調理ボランティア 世代を引き継ぐまで 地区のために頑張ります

成田 地区のために何かお手伝いしたいと思っています。高齢者の一人暮らしの世帯が増え、サービスを必要とするかたがこれから多くなると思う一方で、ボランティアに参加するかたが減っているので、何とかしなくちゃと感じています。白根 自分も高齢になったら、いつ利用する側になるか分からないし、出来る範囲で協力していきたいですね。

鳥内支部の方々

若い方々は共稼ぎ世帯が多く、平日の手伝いは難しいだろうけど、私たちの世代を引き継ぐまで頑張りますよ。



成田洋子さん(左)と 白根恭子さん(鳥内)

高齢者を支えるボランティアの力に

各地域では、高齢者を思いやる心でお弁当を作り、配達するボランティアの方々によって、心のこもった「はつらつ弁当」が届けられていました。

また、田代地域では、自ら進んで手伝う中学生に話を聞くことが出来、非常に感銘を受けました。本当の生きた福祉教育を見た思いです。

一方では、ボランティアの高齢化と人数不足という問題がありました。自らが還暦を迎えた時、省みて周りのお世話になったことに気付き、私もこれまで以上にボランティアに携わっていかねばと強く感じています。

高齢社会が進む中、健康を維持し安心して老後を送ることが出来るような社会を作り上げるためには、高齢者を支えるボランティアの力が必要です。皆さんも月に数回調理に出向き、または弁当を配達して一人暮らしのかたに「元気ですか」と声を掛けることに、少しの時間を割いてみてはいかがでしょうか。